

むくのきだより 2月号



令和6年1月31日 港区立赤羽幼稚園 園長 中村 美奈子

「子供の時間」の豊かな体験 ～音を楽しむ～

園長 中村 美奈子

朝、子供たちが霜柱をみつけて知らせてくれました。寒い日も、子供たちは元気に赤羽幼稚園の園庭で遊んでいます。毎年、保護者の方や評議員の皆様にも本園の取組についてアンケートで評価をしていただいておりますが、今年は子供たちからも聞きました。「幼稚園は好きですか？」という質問には、全員「好きです！」と答えていた子供たち。「幼稚園の何が好きですか？」と尋ねると、園庭や円形広場、ねこまる池を答える子供が多かったです。そして、「もっとこうしたらよくなるな」と思っていることを聞くと、「もっと園庭でたくさん遊びたい」「砂場のおもちゃが新しくなったらいいな」「円形広場にベンチがあったらいいな」「木の板でお家が作れるようになりたいな」など、いろいろな声が返ってきました。今、アンケートを踏まえて、来年度の赤羽幼稚園の教育計画を作成しているところです。大人の意見だけでなく、子供の意見も取り入れながら、子供たちの笑顔が輝く赤羽幼稚園をつくっていきます。

アンケートでは、「お歌が好き」と答えた子供もいました。日頃から、学級で季節や子供の興味に合わせて歌っています。また、11月には、赤羽小学校の音楽会のリハーサルに参加させてもらい、小学生の合唱や合奏を聴きました。小学生のお姉さん・お兄さんが学年みんなで歌う迫力に驚いたり、様々な楽器の演奏に興味をもったりした様子でした。1月の誕生会で先生方が披露すると、「自分もやってみたい！」という思いをもって、遊戯室で楽器に触れ、きれいな音を響かせている姿がありました。その後、2月3日(土)の赤羽幼稚園のコンサートに向けて、歌ったり演奏したりしてみたい曲を決め、音遊びを楽しむ様子がありました。先日の「むくのきコンサート」のとき、ゲストの菊池亮太さんをお願いして、演奏リストに赤羽幼稚園のコンサートの曲を入れてもらいました。すると、軽快なピアノ演奏に合わせて、歌ったり、自分の担当楽器を演奏する動きをしたりしていました。また、体全体を使ってリズムをとるなど、音楽の文字そのものの「音を楽しんでいる」笑顔があふれていました。

子供たちは、素晴らしい感性をもっていると、いつも思います。今の「子供の時間」ならではの素直な表現で、私たち大人に伝えてくれます。ぜひ、2月3日(土)に本園にお越しいただき、子供たちの歌や合奏に励ましの声や大きな拍手をいただければ幸いです。

